島根ふるさとだより

令和５年　11月号

県人会まつり　どじょうすくい踊り　令和５年９月

歓迎「隠岐旅行」 隠岐ジオパーク空港　令和５年８月

県人会まつり　ゆるキャラ大集合　令和５年９月

最後の応援となった大相撲名古屋場所　令和４年７月

第66回総会・懇親会　令和４年11月

東海島根県人会

名古屋市中区栄４-16-36 久屋中日ビル４階
島根県なごや情報センター内
TEL 052-262-3003　FAX 052-262-4877

目　次

ごあいさつ

東海島根県人会　会長　桂　俊弘…… 1
島根県知事　丸山　達也…… 2
愛知県知事　大村　秀章…… 3

わたしのふるさと自慢

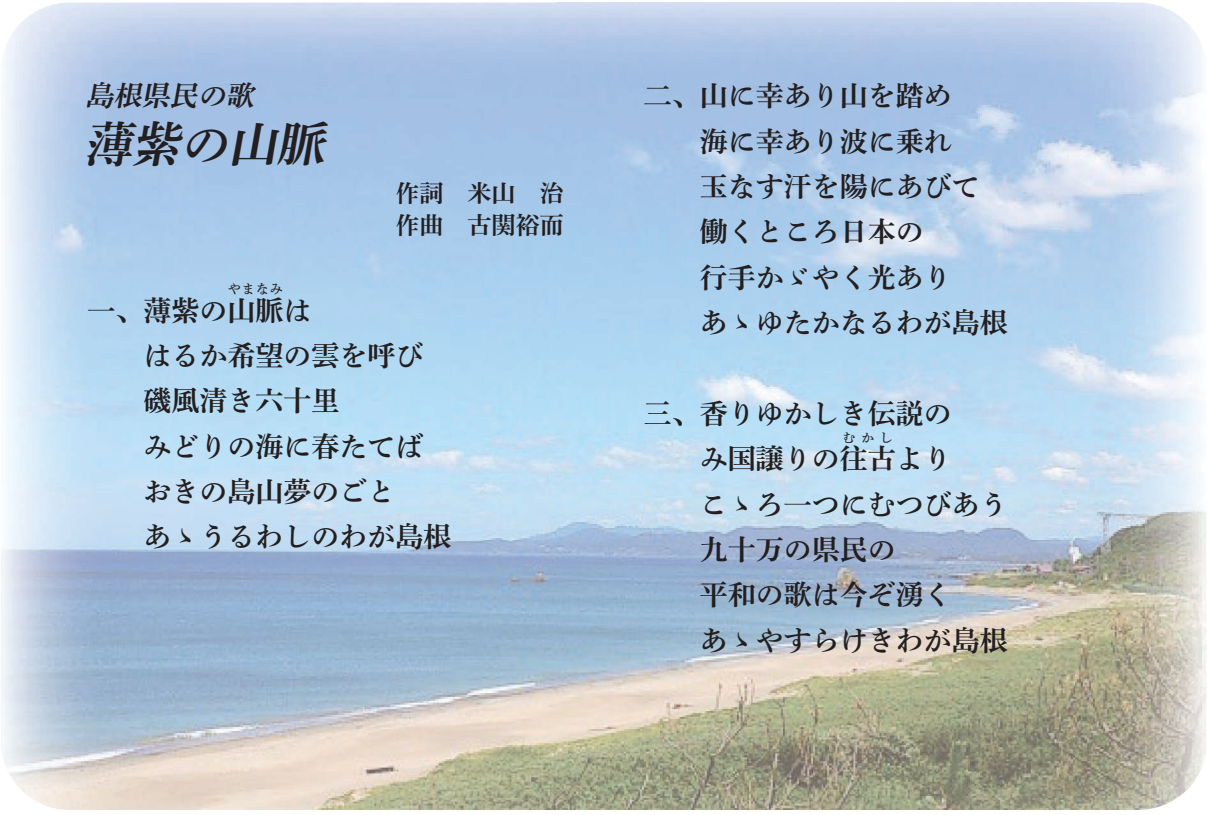
わたしのふるさと、わが友自慢　梅本　和子（出雲市）…… 4
ふるさとへの思い　梶谷　忠男（松江市）…… 4
わがとこ隠岐　熊澤ハツミ（隠岐の島町）…… 5
私の故郷が「住みたい田舎」で全国１位を獲得！　本田　仁志（雲南市）…… 6

しまね見聞録

歴史巡りと美肌体験　佐藤　裕子（島根県なごや情報センター）…… 7
奥出雲を訪れて　小松　美知（島根県なごや情報センター）…… 7

ふるさとみんなの広場

令和５年度「安来節全国大会を終えて」　中村　瑞子（出雲市）…… 9
今こそ平和の歌を…… 9
満喫の旅 in 隠岐 …… 10
ふるさと全国県人会まつり2023 …… 12
新中日ビルに移転します…… 12
編集後記…… 13



島根県民の歌

薄紫の山脈

作詞　米山　治
作曲　古関裕而

一、薄紫の山脈（やまなみ）は
はるか希望の雲を呼び
磯風清き六十里
みどりの海に春たてば
おきの島山夢のごと
あゝうるわしのわが島根

二、山に幸あり山を踏め
海に幸あり波に乗れ
玉なす汗を陽にあびて
働くところ日本の
行手かゞやく光あり
あゝゆたかなるわが島根

三、香りゆかしき伝説の
み国譲りの往古（むかし）より
こゝろ一つにむつびあう
九十万の県民の
平和の歌は今ぞ湧く
あゝやすらけきわが島根

ごあいさつ

総会に寄せて
（第67回）

東海島根県人会　会長
桂　俊弘

昨秋、３年ぶりの東海島根県人会総会に初めて島根県の丸山知事をお迎えして、にぎやかに開催することができました。

丸山知事は、会員の皆様方と気軽に記念撮影等に応じて頂き、明るくきさくな知事さんだと会員は大喜びでした。

島根県は「ご縁も、美肌も、しまねから。」のキャッチフレーズがあります。今夏の甲子園優勝校・慶応高校では、決勝戦で先頭打者ホームランの丸田選手は美肌王子と言われましたが、高校球児も肌を大切にする時代に入ったのだと思いました。もっと日本一島根県の美肌県と観光の素晴らしさを広く伝えていきたいと考えています。

愛知県の大村秀章船長（知事）は愛知県政151年に向かって、日本成長のエンジン役になると力強く船出をされました。

「ジブリパークのある愛知」の魅力を、ふる里島根の皆さんに伝えること等、島根と愛知を結ぶ架け橋としてさらに頑張ってまいります。

東海島根県人会も発足からまもなく70周年を迎え新章節に入ります。

そんな時、栄エリアのランドマークビル高さ約158m33階建の新中日ビルが来春開業します。このビル５階にわが県人会事務所も入居させていただくこととなりました。丸山知事のご高配にあらためてお礼を申し上げます。事務所の配置も鳥取県と隣り合わせとなり、山陰両県の魅力や各々の特色を発信していこうと張り切っています。

一方で悩みもあります。他県人会と同様、それは会員数の減少です。従いまして会員の皆様の周辺に島根県の出身者もしくは会友になっていただける方を積極的にご紹介くださいますようお願いいたします。

県人会では安来節保存会（唄・三味線・鼓・どじょうすくい踊り・銭太鼓の５部門があり、好きな種目を選んで月１回の稽古）、女声コーラス部、ゴルフ部のほかレクレーション部を設け会員の皆様が気軽に参加して交流ができるようなイベントの計画をいたします。

さらに年１回の旅行もあり来秋には風光明媚な隠岐の島で数年ぶりに伝統ある古典相撲も予定されておりとても楽しみです。

終わりになりましたが、会員会友の皆様のますますのご健康とご長寿をお祈り申し上げご挨拶とさせていただきます。

知事あいさつ

島根県知事
丸山　達也

桂会長をはじめ、東海島根県人会の皆様には、日頃より東海地域と島根の架け橋として「ふるさと島根」に温かいご支援、ご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大により中止となっていた「東海島根県人会総会」が３年ぶりに開催され、皆様に直接ご挨拶できましたこと、大変嬉しく思っております。

さて、長引くエネルギー価格・物価の高騰は、島根県内の県民生活や企業活動に、大きな影響を及ぼしております。県としましては、地域経済の回復を図る対策として、中小企業、小規模企業の資金繰りや、エネルギー価格高騰の影響を受けている事業者が取り組むコスト削減、生産性向上のための設備投資、農林漁業者の省エネルギー・省コストにつながる機器の導入の支援などを行い、県民の皆様の生活に及ぼす影響を抑えるなど、県民に寄り添った施策を機動的に講じてきております。

また、県では、「ご縁も、美肌も、しまねから。」のキャッチフレーズのもと、温泉、食などに加え、島根の魅力ある自然、文化、歴史といった観光素材を組み合わせて認知度の向上を図り、観光誘客を進めております。この「島根ふるさとだより」特集号が発行される11月は、秋もたけなわの行楽シーズンですが、島根県はいよいよ神在月を迎え、神々が集う出雲の各神社では、神事が行われます。県人会の皆様のお越しを心よりお待ちしています。

今年度は、「島根創生計画」の４年目となります。引き続き、喫緊の課題であるエネルギー価格・物価の高騰対策や、感染症対策に取り組むとともに、今後とも現場主義、県民目線に徹し、「島根創生」で掲げる「人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根」の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

皆様には、今後とも「ふるさと島根」に温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、東海島根県人会の益々のご発展と、皆様のご活躍をお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

ご挨拶

愛知県知事
大村　秀章

東海島根県人会の皆様におかれましては、ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

貴会が、1957年の設立以来、今日に至るまで会員相互の親睦を深めるとともに、着実に発展してこられましたのは、桂会長を始め会員の皆様方の並々ならぬ御努力の賜物と、深く敬意を表する次第であります。また、この機会に愛知県政の推進に深い御理解と御支援を賜っておりますことを心から感謝申し上げます。

昨年度は、愛知県政150周年を迎える中、スタジオジブリ作品の世界観を表現した唯一無二の公園施設である「ジブリパーク」が開園した記念すべき年となりました。

さらに、国際芸術祭「あいち2022」の成功、愛知国際アリーナやSTATION Aiの工事着手など、これまでに積み上げてきた愛知の力を礎に、更なる飛躍に繋がるビッグプロジェクトを着実に前進させ、愛知が「躍進」する１年となりました。

今、世界は、グローバル化やデジタル化の加速度的な進展、カーボンニュートラルを目指す潮流などにより、大きく変化をしています。愛知県が日本の成長エンジンとして、活力を生み出していくためには、こうした時代の波を乗りこなし、イノベーション創出に挑戦していかなければなりません。

今年度も、海外の有力スタートアップ支援機関等との連携強化を図りながら、愛知のモノづくり産業と融合した愛知独自のスタートアップ・エコシステムの形成を促進し、イノベーションを次々と生み出す「国際イノベーション都市」を目指してまいります。

さらに、社会インフラ整備、農林水産業の振興、教育、女性の活躍、医療・福祉、環境、雇用、多文化共生、防災・交通安全、東三河地域の振興など、県民の皆様の生活と社会福祉の向上に力を注いでまいります。

また、ジブリパークでは、「もののけの里」と「魔女の谷」の２つの新エリアがオープンします。「ジブリパークのある愛知」の魅力を国内外に向けてしっかりと発信してまいります。

今後とも、「日本一元気な愛知」の実現に向けて全力で取り組んでまいりますので、引き続き、東海島根県人会の皆様の格別の御理解と御支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

わたしのふるさと自慢

わたしのふるさと、わが友自慢

梅本　和子（出雲市出身）

ふるさと島根を離れて、半世紀が過ぎようとしています。

名古屋で家庭を持って40数年、月日の経過がとても早く感じられます。今春、中学生になる孫の春休みを待って里帰りをしました。

今は名古屋空港から出雲縁結び空港までＦＤＡが就航していて、とても便利になりました。幸い天候にも恵まれ、快適な空の旅でした。出雲大社へお参りし、日御碕灯台まで足を延ばしましたが、天気も良く青空と日本海の濃緑と真っ白な灯台がとてもきれいでした。

心が洗われるような素晴らしい時間を過ごし、夜には同窓の友と夕食を共にして近況を語り合いました。中学からずっとテニスをしている友、定年後から絵画を始め、題材を求めて旅をしている友、パチンコを毎日楽しんでいる友などみんな輝いてみえました。なかでも親友が、レカンフラワーの全国大会で最優秀賞を何度も受賞していることを知りました。レカンフラワーとは、生花や生葉を自然の色と形のままの状態で立体的に乾燥させて、フレームなどに飾り付ける花のクラフトだそうで、私にサプライズでプレゼントしてくれました。

それは紫色のバラの花のリースのような作品でした。やさしくてとても心が癒やされました。ふるさとでいつでも待っていてくれる同窓の友や自慢の友がいることは幸せだなーと実感しました。私には熱中できるものがないことに気づき、悲しくなりましたが今からでも遅くない、輝けるものを探そう、そんなことをわが友から教わりました。

東海地方にお住まいの“しまねっ子”の皆さんと東海島根県人会でふるさとや友のことなどを語り合い、絆を深め友好の輪が広がっていくことを楽しみにしています。

ふるさとへの思い

梶谷　忠男（松江市出身）

令和５年８月、ふるさと松江に里帰り。

帰省はいつも、ＪＲの列車である。名古屋から岡山まで新幹線、岡山から伯備線・特急やくもに乗り換える。山間の景色を眺めながら、のんびりした一人旅である。

夕方、５時前に松江駅に到着し、ホームの階段を下り、改札口を出ると懐かしさがこみ上げてくる。既に実家はなくなり、町内も様変わりしており60数年の時の流れを実感する。何時ものように、宍道湖沿いに建つホテル一畑にチェックイン。６階にある大浴場からは夕闇迫る宍道湖が臨め、故郷に帰った事をしみじみと味わいながらの至福の時間である。

翌日も天気に恵まれ、先ずはお墓参りをする。高台にある菩提寺からは宍道湖が見える。小学校高学年から中学生頃の夏休みには宍道湖へ泳ぎに行き、嫁が島へ渡って遊んだことをついこの間のように懐かしく思い出す。

帰省の際は、必ず立ち寄る京店の珈琲館に入り、２階に上がり窓際の席に着く。時間が止まったような雰囲気は、心が和み幸せな気分にしてくれる。

それにしても、街は人通りも少なく閑散としている。松江城周辺まで足を伸し、散策を続ける。流石にここまでくると、観光客もちらほら見受けられホッとした気分になる。

城下町の佇まいは、何物にも替え難い松江の文化遺産である。堀川沿いを塩見縄手方面に歩むと、遊覧船が滑るように遠ざかっていく。何ともいえない風情があり旅情を誘う。

故郷があり、里帰りが出来る喜び……年を重ねるほどにふるさとへの思い入れが強くなっていくようだ。

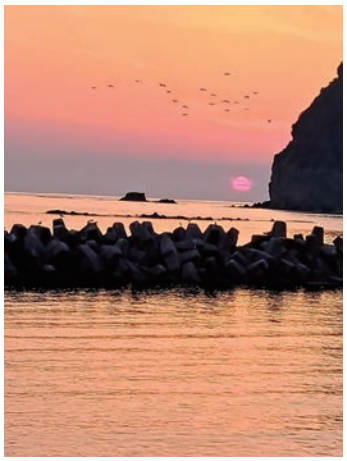
わがとこ隠岐

熊澤ハツミ（隠岐の島町出身）

隠岐諸島４島は、本土に近い島を島前（どうぜん）、丸い歯車の形をした島を島の後ろ島後（どうご）と言います。NHK、BSのテレビ番組「こころ旅」で正平さんが歯車の島と紹介してくれました。私の生まれは島後です。

県人会の隠岐旅行で春日井からは毎年８月に２泊３日で40人が参加します。暑い中での旅行ですが今年でもう６回目となり島の出身者として毎回参加しています。私の友の中には以前参加したときに、悪天候でローソク島が観られなかったという理由で参加３回目の人もいました。今年は天候にも恵まれ、真っ赤な夕日が灯火となって重なる神秘的なローソク島を観ることができました。皆さんとても喜んでくれて故郷冥利に尽きます。長文でのお礼のコメントには感動しました。

今年はコロナ禍で中止されていた「しげざパレード」、「しげさ大会」が５月に４年ぶりに再開され他県の友とパレードや民謡の他、ローソク島、岩倉の乳房杉、那久岬、かっぱ遊覧などの観光を楽しみました。４時からのパレードは約１時間にわたり、しゃもじや鍋蓋、テープでの踊り見学。唄は地の人が10人くらいで唄ってくれました。



私が“しげさ”に出ると言うと愛媛から隠岐の同級生が18年ぶり帰ってきてくれ、先ず私の村、油井で民泊。小六の時、たった１学期間、油井に住んでいたことが忘れられないと二人で思い出を語り合いながら村を散歩しました。その時の夕日の美しさに感動しこんなにもきれいだったのかとわがふるさとを再認識しました。

五箇南方では友の生家、古民家を東京の若夫婦が民泊できるようにゲストハウスとして蘇らせ頑張っています。名付けて燻家（くすぶるハウス）。応援したくなりました。

俳優さんやガンバレルーヤの二人も泊まったようです。宿の近くには隠岐唯一の天然温泉があり友と二人気持ちよくお湯に入り最高でした。無色透明ですが少し塩っぱい隠岐の温泉に入ってみて下さい。

私の村は油井の夕焼け、夕日の美しさには感動します。TV番組「遠くへ行きたい」で俳優の眞島さんが油井のあご漁やかなぎ漁を体験された前の洲の映像が思い出されます。一度行ったらまた行きたくなる島。隠岐の島、是非行ってみて下さい。

しげさ大会で優秀な成績を収められ表彰される筆者の熊澤ハツミさん（編集者　記）

私の故郷が「住みたい田舎」で全国１位を獲得！

本田　仁志（雲南市出身）

私の生まれ故郷は、島根県雲南市で現在も名古屋から隔月で出張しています。その際に、2022年に大手出版社が発表した「住みたい田舎」で全国１位を雲南市が獲得したと知りビックリしました。

確かに雲南市は、県庁所在地の松江市と次に大きな出雲市まで車で約30分程度の距離にありショッピングやお出かけに便利で、日本さくら名所100選に認定された桜の名所で、単純温泉から美肌の湯、放射能泉などの温泉が15ヶ所も存在する豊かな自然に囲まれた田舎です。また、ヤマタノオロチ退治で有名な出雲神話ゆかりの地として知られています。

しかし、これだけで全国１位は難しいと思い調べてみると移住支援制度が整備され、積極的に移住者の受け入れをおこなっていることがわかりました。例えば、

①中学校３年生までの医療費が無料になる「子ども医療費助成制度」、

②農地の売買は法律で制限されており、農家以外には簡単には売却できない仕組みを、雲南市は平成24年に日本初の「農地付き空き家」制度をスタート、

③空き家改修助成事業により島根県の制度にプラスして最大60万円の補助金、

④子育て世帯の住宅購入費の補助を行う「子育て世代宅地購入費助成事業」や、

⑤市内への通勤者や新婚世帯に向けて家賃の50％を助成する「民間賃貸住宅家賃助成」が整備されています。

さらに、行政任せではなく市民主導で、キャリア教育を行う「子どもチャレンジ」、地域の課題を解決する人材を育成する「若者チャレンジ」及び「大人チャレンジ」、地域とともに社会課題の解決に取り組む「企業チャレンジ」の４つに分かれる「雲南ソーシャルチャレンジバレー」も積極的に取組まれています。

このように豊かな自然に囲まれながらも都市部までのアクセスが良く、さらに移住支援制度がしっかりと整備されている点が高評価を受けた理由だと思います。改めて故郷のすばらしさを知りました。

しまね見聞録

島根県なごや情報センターの佐藤裕子さんと小松美知さんがこの夏、島根県を視察研修で訪れましたのでその模様をレポートしてもらいました。ここに紹介された黄泉比良坂は後日NHKテレビの番組で取り上げられ、櫻井家は民放の人気テレビ番組のロケ地として話題になるなど、二人の目の付け所の良さに感心しました。（編集者）

歴史巡りと美肌体験

島根県なごや情報センター　佐藤　裕子

私の行先は、益田、浜田、安来、松江と広範囲です。日本遺産の雪舟庭園（仏教の世界観は難しい～）、日本200名城の浜田城と月山富田城（名城スタンプ集めはじめました！）、出雲神話の黄泉比良坂（ここから黄泉の国か？）、伝統工芸品の藍手まり作り体験（先生に手伝ってもらいステキにできました！）、美肌温泉で有名な美又温泉（浜田市）とさぎの湯温泉（安来市）に宿泊し美肌料理をいただく（お肌も心もツルツル！）という贅沢で充実した旅でした。

黄泉比良坂（よもつひらさか）

特に印象に残った月山富田城は、想像していた以上に壮大。今でも残る土塁や急峻な崖など（とても敵は登って来れない～）、山を有効に利用して築城し、実際に戦いがあった城であることがよく理解できました。山頂の本丸に到着したときには（武将になった気分！）、遠くまで見える景色の美しさに感動しました。

月山富田城

美又温泉ではせせらぎの上を一筋、二筋、優雅に舞うホタルに初めて遭遇しました。灯ってははかなく消えていく光が神秘的でした。

今回の視察では、多くの方々にご案内いただきました。解説付きの見学は、ガイドブックでは掲載されていない重要なポイントを知ることができ、とても印象に残ります。自分で見て聞いて体験した魅力をお伝えし、島根に何度も旅行されるお客様を増やしていきたいです。

奥出雲を訪れて

島根県なごや情報センター　小松 美知

私は島根県出身ではないため、島根県について知らないことや訪れたことのない場所が多数あります。

今回の現地視察では、松江城、出雲大社などの王道観光地以外の知識を深めるため、出雲エリアからひとあし延ばして奥出雲地方を訪れてみました。

初めて足を踏み入れた奥出雲は、名古屋と違い「空気がおいしい！」「のどかな風景に癒される！」

「仁多米がおいしい！」「適度な湿度で肌と喉の調子がいい！」といいことずくめでした。

宿泊した玉峯山荘では、山陰唯一のサンドバスを体験しました。

温められた天降石（てんこうせき）と呼ばれる球状の石に全身のツボを刺激され、ドックンドックンと力強い脈を打ちながら玉のような汗をかき、しっかりデトックス。入浴後は肩こりや足のむくみが解消され、とても体が軽くなりました。

また、本場でいただいた仁多米が絶品でした。朝食は欲張って仁多米をおかわりをしたことにより、おかずが食べきれなくなるという事態になってしまいました。

玉峯山荘

翌日は日曜劇場「VIVANT」で話題となった櫻井家可部屋集成館を訪れました。５月に訪れたため、まだドラマの放映は始まっておらず、ドラマのロケ地となっていることを知りませんでした。

不昧公好みに造られた庭園は緑がとても美しく、感動しました。秋の紅葉シーズンにもぜひ訪れてみたいと思います。

櫻井家可部屋集成館

この他、和鋼博物館や奥出雲たたらと刀剣館などたたら製鉄に関する施設、美肌事業に関する宿泊地の見学を行いました。

どこの施設でも温かく出迎えていただき、とても嬉しかったです。奥出雲の方々はお話し好きな方が多く、現地での貴重なお話をたくさん伺うことができました。

奥出雲の方々の温かさ、のどかで癒される風景、仁多米をはじめとしたおいしい食材。

すっかり奥出雲のファンとなりました。唯一、残念な点は公共交通機関でのアクセスが難しいこと。とはいえ、素晴らしい観光資源があるので、車で島根県を観光される方には積極的に奥出雲をご案内し、一人でも多くの方に奥出雲の魅力を伝えていこうと思います。

電気の困りごと気軽に相談下さい
大岳電気工業株式会社
松江支店
〒690-0017 松江市西津田２丁目８－24
TEL(0852)67-1851　FAX(0852)67-1852
担当　山本 090-2579-4666
本社　名古屋市中野本町２丁目 28 番地
TEL(052)351-6881　FAX(052)361-8156
代表取締役会長　山本　慶明（雲南市掛合町出身）
代表取締役社長　山本　孝司

神 前 神 社
亀崎「潮干祭」
（５月３日・４日）
ユネスコ無形文化遺産
国重要無形民俗文化財
愛知県半田市亀崎町2-92
TEL 0569-28-0019

ふるさとみんなの広場

令和５年度「安来節全国優勝大会」を終えて

安来節保存会東海支部　支部長　中村　瑞子

「安来節全国優勝大会」は毎年曜日に関係なく８月15日～17日の３日間安来に於いて開催されて来ましたが、コロナ感染拡大により中止となり、今年は４年ぶりに通常開催されました。

少年の部は予選がありませんが、大人の部は大阪での関西ブロック予選会で級別に予選が行われ、予選を通過した人しか出場できません。にもかかわらず今年は台風７号のため交通機関が運休となり大会２日目の出場者が３名も欠場を余儀なくされましたことは大変残念でした。

大会の結果、東海支部は優勝４名、準優勝１名、奨励賞３名の好成績を収めました。

そして今回の大会で、発足17年目にして悲願の団体戦初出場を果たしました。この時は感動で胸が熱くなりました。団体戦とは、唄二人、絃（三味線）二人、鼓一人の５人が一組で、全員が師範でなくては出場できません。師範になるには最短でも７年はかかります。それに唄の二人は高さが同じでなくてはいけないため、全支部が毎年出場できるわけでもありません。

発足以来、いつになったら団体戦に出場できるのだろう、そんな日は来るのだろうかと思い続けて来たので、とうとうその夢が叶った、心に残る記念すべき大会となりました。

今日、東海支部があるのも発足時より東海支部事務局をお引き受けいただきました、東海島根県人会様のご協力の賜と心より感謝しております。これからも安来節とともにふる里を思い、この名古屋に安来節の輪を広げて参りたいと存じます。

今こそ平和の歌を

～８月５日、下垣真希ソプラノリサイタル開催～

８月５日（土）伏見の電気文化会館　ザ・コンサートホールで、「下垣真希平和のリサイタル2023」が開催され、下垣さんの平和への祈り、願いを込めた名曲を歌い上げる美しい歌声と熱い語りに詰めかけた満員のファンは魅了されました。

今回は、日本を代表するバリトン歌手、栗原峻希さんをゲストに迎えられ、「長崎の鐘」をはじめ息の合ったデュエットは皆さんの胸に深く響き渡りました。

今回、初めて参加された会員の鹿毛純子さんは「時間が経つのを忘れるくらい引き込まれた。言葉で言い表せないほどに感動し自然に涙が出てきた」と感想を述べていました。

これからも県人会は下垣真希さんを応援して参ります。この感動を共有するためにも皆さまのご参加をお待ちしています。

満喫の旅 in 隠岐

８月１日（火）～３日（木）、39名が参加して４年ぶりの隠岐旅行を開催しました。伊丹空港から１時間で隠岐空港に到着すると、隠岐民謡しげさ節としげさ踊り、そしてしまねっこの歓迎を受け、一同感動。２泊３日の旅が始まりました。ローソク島や摩天崖に代表される大自然、歴史を偲ばせる名所、旧跡や伝統行事、さらには新鮮な海の幸を堪能しましたが、なにより心のこもった人情の島、隠岐の島町の皆様のおもてなしに感激した旅でした。楽しい思い出とお土産を一杯詰めて、役場の皆様に見送られ隠岐満喫の旅を終えました。

大自然

赤尾展望台と紺碧の日本海を望む

絶景、ローソク島

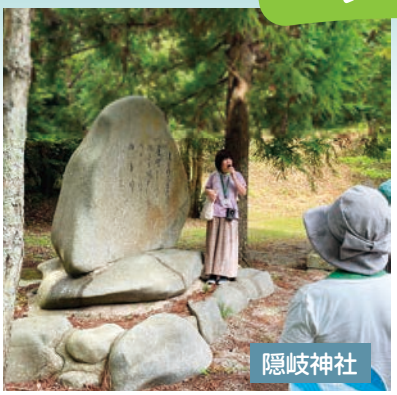
摩天崖をバックに記念撮影

おもてなし

鍋蓋手に持ち、一緒にキンニャモニャ踊り

大庭副町長がプレゼンター、楽しい抽選会

史　跡



京への思いは如何ばかりか
後鳥羽院行在所跡

樹齢２千年の八百杉を見上げる

伝統行事

迫力満点の牛突き

古典相撲に思いを馳せる

テープで見送られて島前の旅へ

また来るね

感動をありがとうございました

歓迎に感激

しげさ踊りとしまねっこがお出迎え

おもてなし

隠岐民謡会の皆さんの唄と踊りに拍手喝采、アンコールの嵐

ふるさと全国県人会まつり2023

今年の県人会まつりは９月９日(土)、10日(日)４年ぶりとなる栄の久屋広場に舞台をもどし盛大に開催されました。島根県人会は９日のステージで安来節保存会の皆さまによる安来節、どじょうすく踊り、銭太鼓が披露され島根の郷土芸能の魅力をPRしました。

安来節保存会によるどじょうすくい踊り

一方、物産販売では恒例になった隠岐の島のさざえや白バイ貝、イワガキの壺焼きを求めて長蛇の列ができるほどの人気で、販売を再開した生ビールとともに島根の食を楽しんでいただけました。

また、ゆるキャラしまねっこの人気は相変わらずで、ステージでのゆるきゃら大集合や島根ブース前のふれあいでは集まった多くのファンに盛んに愛嬌を振りまいていました。

この二日間、初日は終日暑い中、そして２日目は午後からあいにくの雨模様にも関わらずコロナ禍前と同様に多くの来場者があり、それだけ県人会まつりが定着し開催を楽しみにしている皆様が多くおられることを実感しました。訪れてくださった皆さま、そして開催にご協力くださった隠岐の島町や安来節保存会はじめ多くの皆さま、本当にありがとうございました。

隠岐のブースに長蛇の列

しまねっこに人の輪、輪、輪

新中日ビルに移転します

８月に完成した新中日ビルの５階に来春の３月下旬に島根県なごや情報センターが現在の久屋中日ビルから移転し、県人会も同居することになりました。アクセスも格段に向上しかつての中日ビル入居時と同等の集客ができると期待しています。この地の利を活かして、島根県の特産品の販売や観光案内に力を注ぎたいと思っております。どうぞ会員の皆様はじめ友人、知人をお誘いの上お越し下さいますようお願いいたします。移転への詳細につきましては会報やホームページで随時お知らせいたします。

会社案内・パンフレット・自分史などの企画・制作　その他 総合印刷
株式会社 マルワ
〒468-0011 名古屋市天白区平針四丁目211番地
TEL 052-802-4141　FAX 052-802-9355
URL http://www.maruwanet.co.jp
MARUWA

事業用不動産の企画設計
工場 倉庫
医療 福祉
店舗 事務所
用地紹介・土木設計・建築設計
株式会社 三建コンサル
春日井市上条町1丁目215
TEL：0568-84-3311
https://3ken.co.jp

編　集　後　記

会報として総会で配付する「島根ふるさとだより」は4年ぶりとなりますが、丸山知事、大村知事はじめ多くの皆様にご寄稿をいただき発行することが出来ました。今回はできるだけ会員や島根にゆかりのある皆様の声を届け、会報を身近に感じていただきたいという思いから、特集として「わたしのふるさと自慢」、「しまね見聞録」と称しふるさとの思い出や現況を紹介いただきました。

そこには故郷を離れて年を重ねても変わらぬ旧友との友情、昔のまま変わらぬ自然もあれば変わりゆく町並み、人々の営みなどそれぞれ生まれ育ったふるさとに思いを寄せる心があり、それが今日の皆さんの活力の源となっているのだと思いつつ、あらためてふるさとの良さを感じ取ることが出来ました。

このように今後も、会員の皆様とのつながりが広がっていくような会報にしたいと思います。思いつかれたときで結構ですので、ふるさとのお便りや体験をお寄せいただくと大変喜びます。

末筆となりましたが、今回の発行に際し、寄稿や協賛をはじめご協力を賜りました多くの皆様に厚くお礼を申し上げ編集後記といたします。　（事務局　湯淺　勉）

島根ふるさとだより　令和５年11月号
発行者　東海島根県人会
印刷所　株式会社マルワ

釜めし・鍋物・一品料理
㈲御食事処 ふじき
代表取締役 藤記敏夫
アツ子
（大田市仁摩町出身）
営業時間　昼　11:30 ～ 13:30
午後　17:00 ～ 23:00
店　〒466-0071　安城市今池町１丁目14-2
TEL/FAX（0566）98-2124

業務用低温設備・空調設備
メンテナンス・設計・施工・販売
有限会社 リョウテック
代表取締役 藤原　修
（松江市出身）
本社　〒466-0052 名古屋市昭和区村雲町 17-26　成和ビル 2F
TEL〈052〉746－4500　FAX〈052〉746－4501
携帯 TEL　090－3385－2407
E-mail:o-fujiwara@ryoutech.com
http://www.ryoutech.com

アパマンショップ犬山店
㈱中央不動産センター
TEL（0568）65-0565
〒484-0086　愛知県犬山市松本町３丁目１
宅建取引士５名・損害保険上級資格者４名
マンション管理士1名・フィナンシャルプランナー1名
代表取締役 野崎末明（邑南町出身）
不動産（賃貸・売買・管理）

美味しい

そのひと言を支えます

食に関わるシーンでホシザキは
保存から調理に至るすべての工程をサポートします。

主な取扱商品

- 全自動製氷機
- 業務用冷凍冷蔵庫
- 食器洗浄機
- スチームコンベクションオーブン
- 冷凍冷蔵ショーケース
- 電解水生成装置
- プレハブ冷蔵・冷凍庫
- ブラストチラー
- 電磁調理器
- フライヤー
- 真空包装機
- ディスペンサーなど

ホシザキ株式会社 www.hoshizaki.co.jp

本　社／〒470-1194　愛知県豊明市栄町南館 3-16　☎0562-97-2111　　島　根／〒699-1393　島根県雲南市木次町山方 271-13　☎0854-42-1311